

やってみよう!! ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを使って自宅学習などに活用してもらっています。今回は、日本の鉄道が14日に開業150年を迎えたのに合わせ、高砂市出身で鉄道ファンの俳優六角精児さんに、その魅力や未来に寄せる思いを語ってもらったインタビューです。

インタビューに答える俳優の六角精児さん



ろっかく・せいじ 1962年生まれ。高砂市出身。舞台やドラマ、映画などで活躍。豪雨で被災したJR只見線の復旧を応援し魅力を紹介する「只見線のうた」(2017年発売)を作った。

開業150年の日本の鉄道は

鉄道に乗って旅をするのが好きで、これまでにJRの路線はほとんど乗った。私鉄も全国で堪能している。最近も姫路市で撮影が中止となったとき、次の仕事先の福岡市までローカル線乗り継ぎ、山陰を経由して向かった。車窓の景色は毎回、異なる。場が許せば、好きな酒を飲む。そうすると不思議と眺めも色づき、楽しくなる。夜行列車も魅力的だ。日常から非日常へ連れて行ってくれる。人けない駅を通過し、独りの夜が心に染みる経験は、記憶に残る。朝に到着した際には、はるばるやってきた感覚にさせてくれる。

鉄道150年 インタビュー

俳優
六角精児さん



車窓の眺め、日常から非日常への旅

今、転換期にあると思う。多くの人を早く目的地へ運ぶ移動手段としてだけでなく、快適さや乗ること自体の観光的側面も重要になっていく。乗っているときの充実感が得られるようにするなど、鉄道の価値を高めることが求められる。鉄道は人間の血管のようなもの。新幹線や本線の大動脈からローカル線の毛細血管まである。血液が行き渡るように、列車が都市と地方を結んでつながりが生まれる。

ただ人口減少や新型コロナウイルス禍などの影響で、維持がおぼつかない路線が出てきている。廃線ありきでなく、住みやすい町にするために地域の交通がどうあるべきなのか、住民や自治体、鉄道会社、国がしっかりと議論してほしい。

僕にできるのは、乗車すること。そして各地の良さを人に伝えたい。

10月11日の夕刊にのった記事

①俳優の六角精児さんは何が好きだと言っていますか

②夜行列車は何が魅力的だと言っていますか

③鉄道(鉄道の線路)を何に例えていますか。空欄を埋めましょう

の のようなもの
 が行き渡るように、列車が
 と を結んで
 が生まれる

答えは30日の「週刊まなびー」にのるよ。



④維持がおぼつかない路線の将来について、どう願っていますか

⑤六角さんが復旧を応援したJR只見線は、何県と何県をつなぐ鉄道で、いつ全線で運行再開しましたか。「JR只見線」「全線再開」でキーワード検索しましょう

もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて10月29日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

16日
週刊まなびー

ワークシートの 解答例

- ①例＝「天空の城」浮かぶ秋
- ②昼夜の寒暖差が大きく、風が穏やかで湿度が高いなど
- ③自由記述
- ④「佐用の朝霧」が望める【大撫山】(佐用町)
▽豊岡市城崎町来日にある【来日岳】の雲海
- ⑤自由記述